



2026年3月期 第1四半期 決算短信補足資料

(2025年4月1日～6月30日)

第1四半期 決算のポイント

売上高 : 12,057百万円 (前年同期比 1.1%増)

営業利益 : 680百万円 (前年同期比 6.2%減)

前年同期比で増収減益の着地

年間計画に対しては、営業利益の進捗率が68.0%と順調な進捗

増収要因

- ・ 食品事業の売上伸長
 - 家庭用商品における鍋物調味料群、その他群の売上伸長
 - 業務用商品におけるスープ群の売上伸長(新商品の貢献等)
- ・ その他事業の売上伸長

減益要因

- ・ 成長投資に伴う減価償却費の増加(売上原価率の上昇)
前期 売上原価率 : 63.8% 今期 売上原価率 : 64.9% (+1.1pt)

連結業績

単位：百万円

- ✓ 前年同期比で増収であるが、売上原価率の上昇により減益
- ✓ 国内製造体制の再編に伴う構造変革費用を含む特別損失(413百万円)を計上

(百万円)	2024.6	2025.6	2024.6 対比		2026.3 計画対比 (2025/5/14開示)		
			増 減	増減率	計 画	未達額	進捗率
売上高	11,926	12,057	131	1.1%	48,400	36,342	24.9%
売上原価	7,603 63.8%	7,821 64.9%	218 1.1pt	2.9% —			
売上総利益	4,323 36.2%	4,236 35.1%	▲86 ▲1.1pt	▲2.0% —			
販管費	3,597 30.2%	3,556 29.5%	▲41 ▲0.7pt	▲1.2% —			
営業利益	725 6.1%	680 5.6%	▲44 ▲0.4pt	▲6.2% —	1,000 2.1%	319	68.0%
経常利益	813 6.8%	695 5.8%	▲118 ▲1.1pt	▲14.6% —	1,200 2.5%	504	57.9%
特別損失	2	413	410	13994.5%			
純利益	539 4.5%	163 1.4%	▲376 ▲3.2pt	▲69.8% —	700 1.4%	536	23.3%

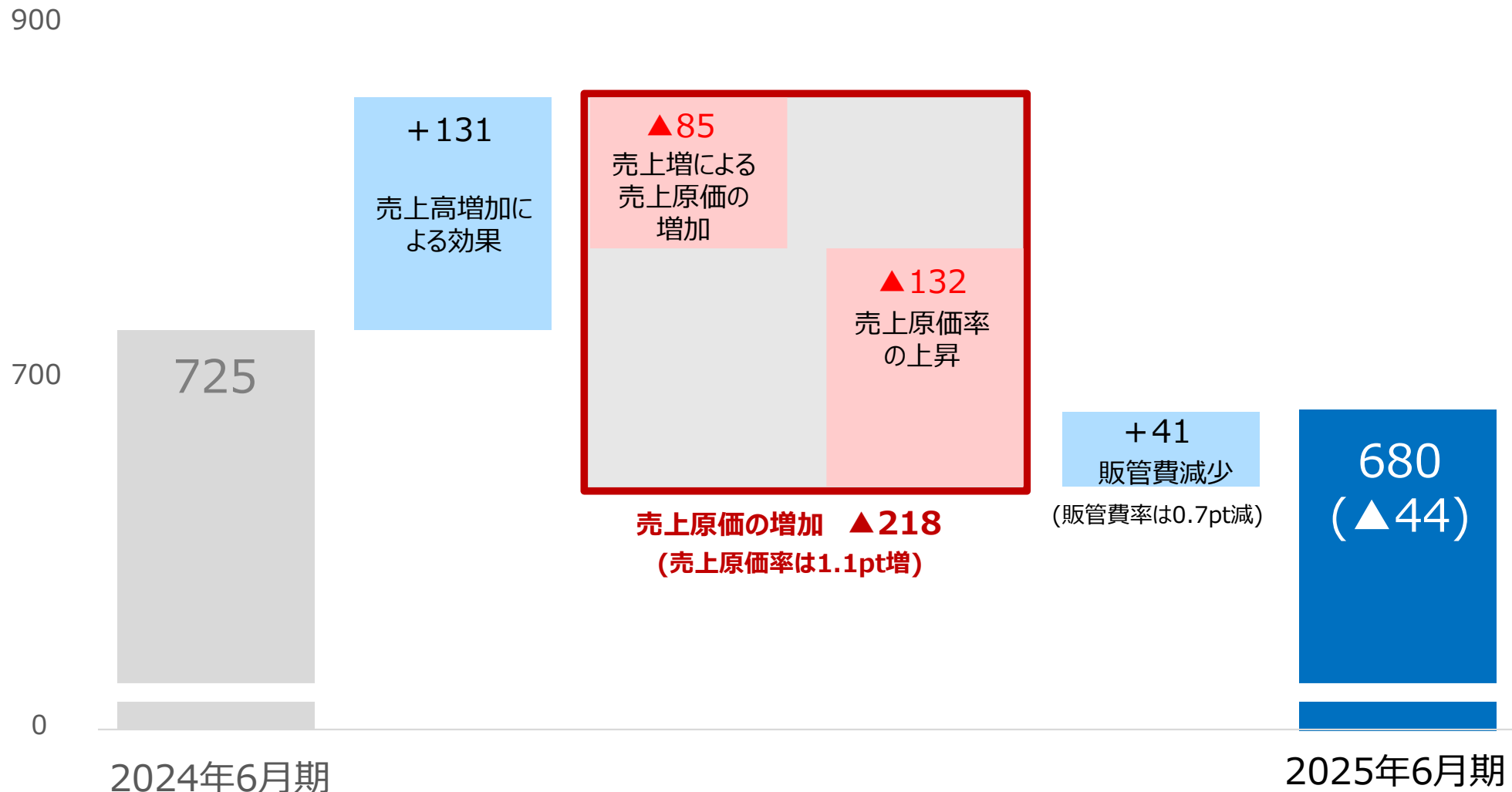
営業利益 増減分析(前年同期比)

■ 増益要因

■ 減益要因

単位：百万円

- ✓ 成長投資（津山工場、タイ工場稼働）に伴う減価償却費(売上原価)の増加が減益の主要因



セグメント・商品区分別 売上高

単位：百万円

増収：家庭用商品(鍋物調味料群・その他群)、業務用商品(スープ群)、物流事業、その他事業

減収：家庭用商品(肉まわり調味料群、野菜まわり調味料群)、業務用商品(肉まわり調味料群、その他群)

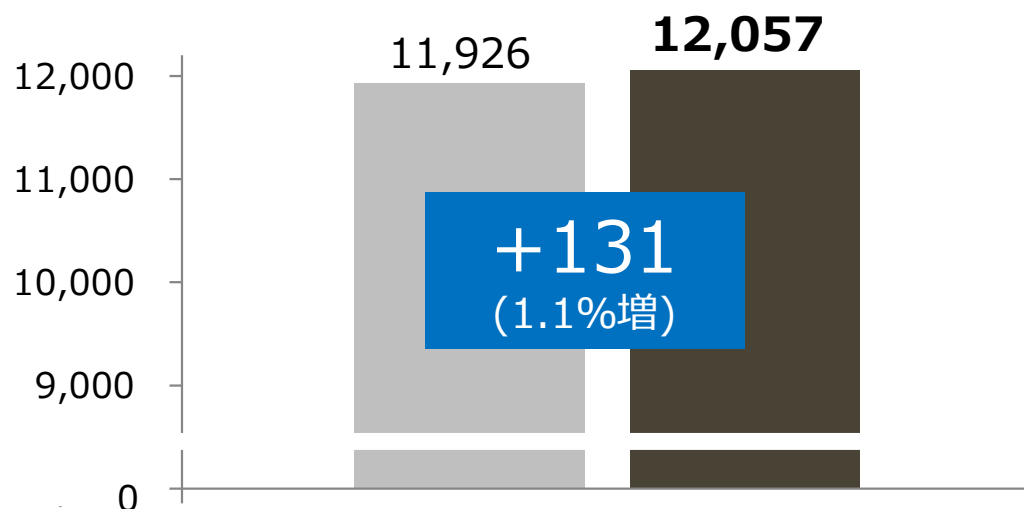
事業名称及び商品群名			前第 1 四半期 連結累計期間 (2024年4月～ 2024年6月)	当第 1 四半期 連結累計期間 (2025年4月～ 2025年6月)	増減	増減率
食品事業			10,039	10,156	117	1.2%
	家庭用商品		7,244	7,318	73	1.0%
		肉まわり調味料群	3,626	3,512	▲114	▲3.1%
		鍋物調味料群	1,167	1,230	63	5.4%
		野菜まわり調味料群	989	969	▲19	▲2.0%
		その他群	1,461	1,606	144	9.9%
	業務用商品		2,794	2,838	43	1.6%
		肉まわり調味料群	859	849	▲10	▲1.2%
		スープ群	848	919	70	8.3%
その他群		1,086	1,069	▲16	▲1.5%	
物流事業			1,752	1,752	0	0.0%
その他事業 (広告宣伝事業、人材派遣事業)			134	148	14	10.9%
合計			11,926	12,057	131	1.1%

セグメント・商品区分別 売上高

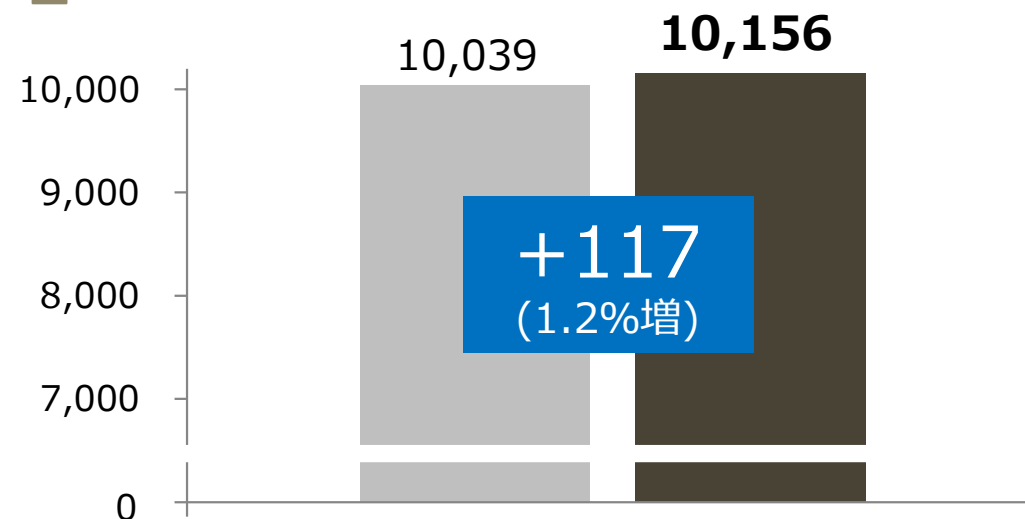
単位：百万円

左：前期 右：当期

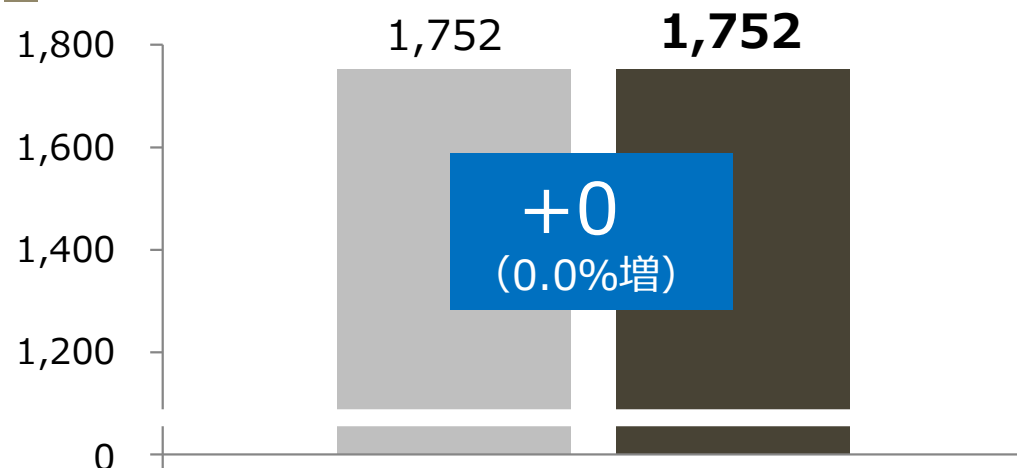
全体



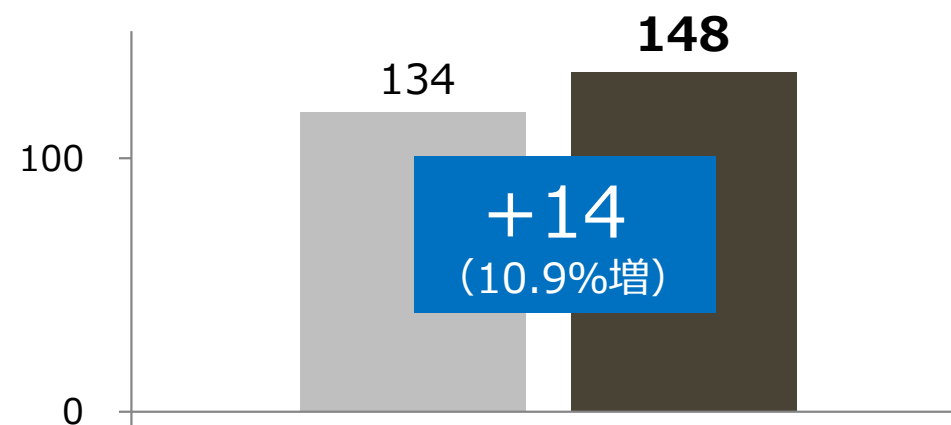
食品事業



物流事業



その他事業

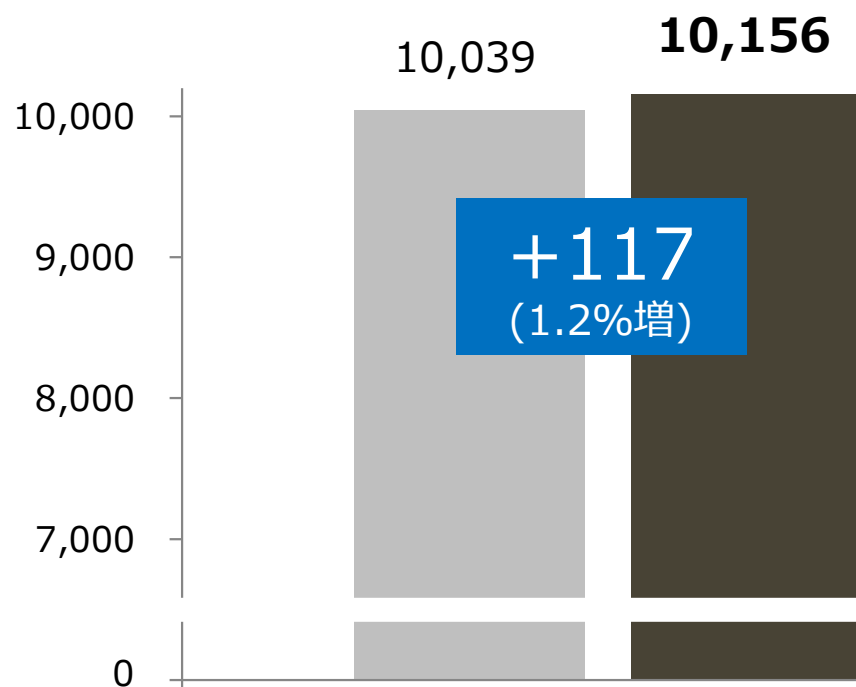


セグメント・商品区分別 売上高

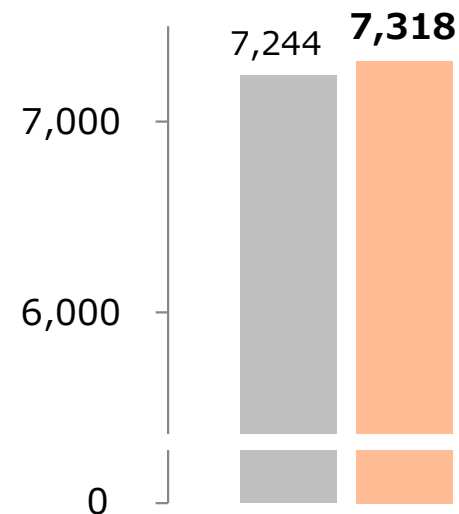
単位：百万円

左：前期 右：当期

食品事業



食品事業（家庭用商品）



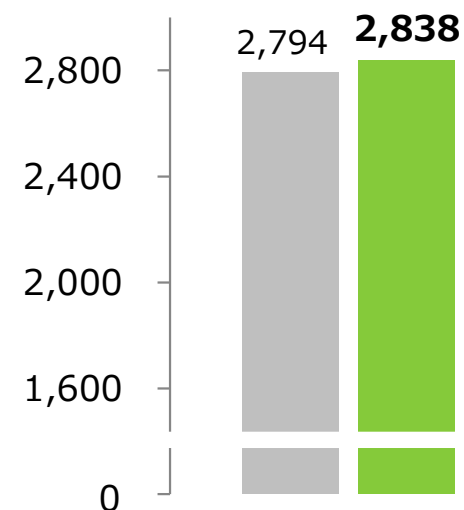
前年同期比

+73 (1.0%増)

1 Q売上高
前年同期比

肉まわり調味料群	▲114
鍋物調味料群	+63
野菜まわり調味料群	▲19
その他群	+144

食品事業（業務用商品）



前年同期比

+43 (1.6%増)

1 Q売上高
前年同期比

肉まわり調味料群	▲10
スープ群	+70
その他群	▲16

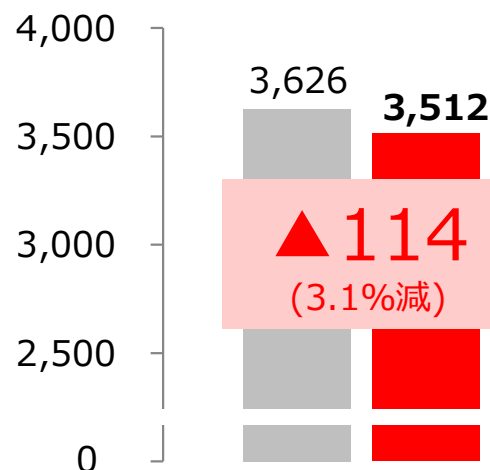
セグメント・商品区分別 売上高

単位：百万円

左：前期 右：当期

食品事業（家庭用商品）

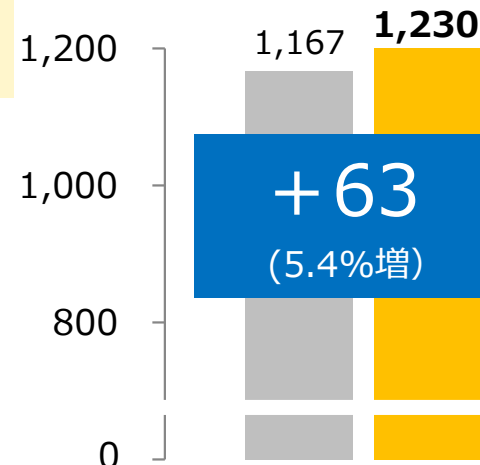
● 肉まわり調味料群



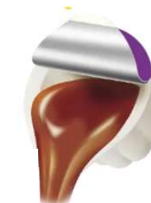
『おろしのたれ』売上伸長も
精肉価格高止まりの影響
を受ける



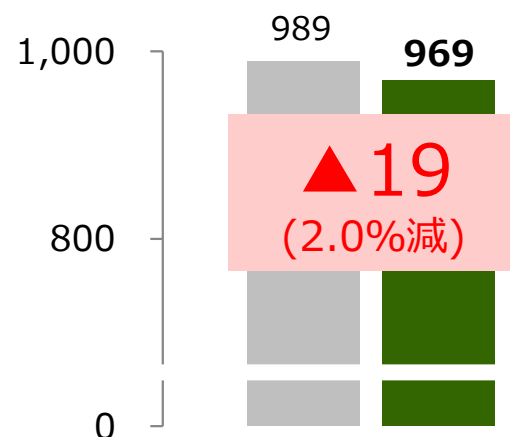
● 鍋物調味料群



『プチッと鍋』が売上伸長

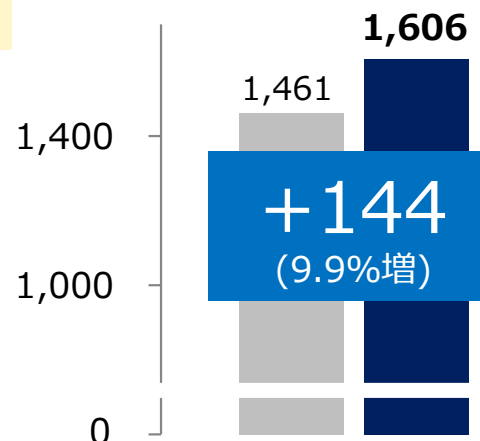


● 野菜まわり調味料群



野菜価格の高騰や一部
商品の終売影響

● その他群



『プチッとうどん』が売上伸長
新商品『プチッと中華』貢献



2026年3月期 業績見通し

- ✓ 413百万円の特別損失を計上も、第2四半期連結会計期間において
投資有価証券売却による546百万円の特別利益を計上する見込みであり、
業績予想は期首予想から変更なし

(百万円)	2025.6	2026.3 計画進捗 (2025/5/14開示)		
		計 画	未達額	進捗率
売上高	12,057	48,400	36,342	24.9%
営業利益	680	1,000	319	68.0%
	5.6%	2.1%		
経常利益	695	1,200	504	57.9%
	5.8%	2.5%		
純利益	163	700	536	23.3%
	1.4%	1.4%		

免責事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生に関するリスク
- 会計方針の変更

こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

※ この資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記載は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

● お問い合わせ先：広報IR部（TEL 045-226-0240）